

試合会場レポート

[試合番号]特設1

[開催日]2010/6/27

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]1500

[開始時間]12:45

[終了時間]13:30

[試合時間]0:45

[主審]松延 亮一

[副審]高橋 賢司

[記録員]渡邊 誠

男子：決勝戦

霞ヶ浦高等学校

監督：岩崎 匡史

コーチ：

2	25	第1セット 【0:20】	19	0
	25	第2セット 【0:22】	18	
		第3セット 【：】		

土浦第三高等学校

監督：久保田 純男

コーチ：石崎 聖

【 】内はセット時間

戦評

男子決勝戦は、3年連続7回目の全国大会出場を目指す霞ヶ浦高等学校と、初の全国大会出場を目指す土浦第三高等学校の対決となった。

土浦三 14番櫻井のサーブで始まった第1セットは、序盤は気迫あふれるレシーブやブロックで粘る土浦三を、霞ヶ浦は高いブロックと霞ヶ浦3番植竹のスパイクで6-1とリードする。タイムアウトをきっかけにリズムを掴んだ土浦三は9番政井のサーブや1番坂本、4番三浦のスパイクなどで、11-8と3点差まで追上げる。しかし、霞ヶ浦は1番廣瀬のクイックや10番北島、5番和田のスパイクなどで突き放し、25-19でセットを取った。

第2セットも出だしから、霞ヶ浦が強力なスパイクや高いブロックでポイントを重ね局面をリードする。土浦三は10番川崎をメンバーチェンジでコートに送り出し、流れを変えようとする。しかし、霞ヶ浦は4番秋庭のスピーディーなトス回しでスパイクを決めていき、16番加藤をサーバーに投入し突き放しにかかる。土浦三も2番高橋のサーブや14番櫻井のスパイクなどで食い下がるが、25-18で霞ヶ浦がセットを取り、全国大会出場を決めた。

粘り強いレシーブからリズムを掴もうとする土浦三を、霞ヶ浦がブロックとスパイクで圧倒したという印象が残る決勝戦であった。